

小噺・落語入門サロン

■ 前　座 (今日の話題・話のネタ) 山号次号



落語歳時記シリーズ

如月（2月）の落語 「河豚鍋」

川柳に「オツですと言うがフグには手を出さず」寒い季節にはピッタリの食べ物です。

フグは旨いことは分かっているのですが、当たるという「フグは食べたし命は惜しし」

帮間の繁（しげ）が久しぶりに顔を見せた。一緒に食事をしようと、ご主人は鍋を出した。

「これは何の鍋ですか」「魚だ」「魚は何ですか」、「食べれば分かる」「テツだ」「これは鉄では無く土鍋ですな」「テツと言えばフグだ」ご主人に勧められたが、箸が出ない「フグを食つたらフグ死にます」「大丈夫だ。しっかりした所の料理屋から取り寄せたものだ。

お前に食べさせてあげたいのだ・・・」

繁もご主人もお互いに恐くて箸が出ない。何と言われても、相手が食べるまでは安心して食べられない。繁は箸を付けようとはしない。

そこに乞食がお余りをもらいに勝手口に来ていた。

何かひらめいて乞食を引き留めた。鍋の中の当たりそうな部分を沢山入れて持たせた。

その後について行ったが、乞食は気持ちよさそうに寝ていた。

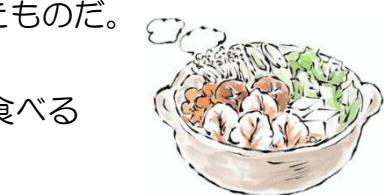
2人は安心して食べ始めた。ネギも豆腐もフグも、旨い旨いと全部平らげ、残りは雑炊にして綺麗に平らげてしまった。2人とも満足して次に又食べに行こうと話をしていると、裏で騒がしい。聞くと先程の乞食が来ている。お余りをくれと言っていて動かないというので、主人が自ら出て行った。

「お余りがあったら下さい。先程もらったのでもイイのです」

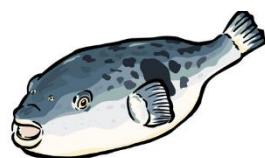
「先程の鍋は全部食べてしまって、もうない」、「身体の方は何ともありませんか」

「バカを言え。一流料理屋から取り寄せたものだ。何でも無いわ」

「そうですか、それでは私も安心して、ユックリ頂戴を致します」。



■ 二つ目 (小咄の稽古)



映像や音声から学ぶ、小ばなしのコツ・つぼ

「プロに学ぶ小噺の話し方」落語の時間 “がまの油” (大道商人の口上)
その後、皆さん的小ばなし披露とアドバイス

■ 大喜利

今回も **謎かけ** で、お題は「梅の花」「蓮根（レンコン）」

次回は 2026 年 3 月 2 日（月） 場所：万世橋区民館 8F 洋室

次回のなぞかけのお題は「桜」「卒業」